

# 市民，行政，研究者等の協働による 環境管理団体のコーディネート



倉本 宣  
Noboru Kuramoto

農学部 農学科 応用植物生態学研究室  
School of Agriculture, Department of Agriculture  
<http://www.isc.meiji.ac.jp/~seitai/>

研究目的	<p>生物多様性地域戦略が先駆的な自治体で策定されて、地域で実際に生物多様性に関わる協働が実践されるようになってきている。このとき、関係する行政、企業、市民などの合意形成が成功の鍵を握っている。</p> <p>当研究室では、生態学的な知見に加えて、人間の側の活動や意識のモニタリング手法について研究してきたので、これを活かして、協働の場における合意形成手法や市民活動における合意形成手法を、生物多様性に関わる現場において開発していくことを目的とする。</p>
研究内容	<p>関係する行政、企業、市民などの意思決定の特性を整理して、各構成要素が折り合いをつける手法を検討している。</p> <p>当研究室では、本来は生態学的な研究を行ってきたものの、それだけでは生物多様性問題を解決できないので、生態学的な自然についての知見に加えて、人間の側の活動や意識のモニタリング手法について研究してきた。手法はヒヤリングやアンケートである。</p> <p>これを活かして、協働の場における合意形成手法や市民活動における合意形成手法を、生物多様性に関わる現場において開発していく。</p>
用途	協働による環境管理活動を診断してより良いあり方をみいだすことができる。
関係論文	<p>①桜ヶ丘公園雑木林ボランティアの活動と組織に対する意識，日本造園学会『ランドスケープ研究』，65(5)，455-460(2002/03).</p> <p>②市民・行政・研究者の協働による絶滅危惧種カワラノギク保全活動の取り組み—多摩川における保全の実践とその評価—，保全生態学研究 14(1)，101-108 (2009/05).</p> <p>③屋上に営巣したコアジサシの保全活動に関わる市民の意識，環境システム研究論文集，33，133-138(2005/10).</p>
キーワード	生物多様性，環境管理，環境教育，環境調査，コーディネーター，里山，植生管理，意識調査，順応的管理，自然再生



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: [tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp](mailto:tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp)

2014年6月改訂